

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	070101020	予算コード	01001000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	表彰事業			正規職員数 0.8	国庫支出金 0	有効性	B	①②については、市民意識の高揚を図るため継続実施する必要がある。また、名誉市民の顕彰制度や、文化やスポーツ等の分野での活躍を行ったものへの表彰制度は必要に応じ活用し、市民意識の一層の向上を図るものとする。 ③④については、府・国の制度であり、継続を要する。	
担当課	秘書課			嘱託職員数 0	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C		
	■ 条例・規則 ■ 要綱・要領			歳出(千円)	その他 0				
	①⑥泉佐野市功労者等表彰要領 ②泉佐野市有功者表彰条例 ③大阪府表彰規則			人件費総額 7,059	一般財源 7,401	妥当性	A		
	④春秋叙勲候補者推薦要綱(内閣府) ⑤泉佐野市名誉市民条例				減価償却費 0	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 7,401	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円) 74					①善行者表彰は、町会等に推薦を促したが被表する該当者がなかった。 ②有功者表彰は該当者がなかった。③大阪府知事表彰は前年度に推薦を行った2名が表彰を受賞した。④叙勲は、春秋叙勲の上申を1名府を通じ国に行った。
対象	不特定の市民	対象数		活動指標	H30実績	公的関与	A		
事業の内容	①善行者表彰は、町会等より推薦を受けた被表彰候補者について選考委員会において選考の上決定し、表彰を行う。②有功者表彰は、市長、議員等規定を満たす者を有功者として表彰する。③大阪府知事表彰、④叙勲は、地方自治功労分野において功績のあった者を府、国に推薦する。⑤名誉市民条例に基づき、該当者に名誉市民の称号を贈る顕彰式を実施する。⑥文化・スポーツ功労者、ふるさと功労者、市政特別功労者、市民栄誉賞に該当する者を表彰する。(平成27年度より)			善行者表彰表彰式開催件数	1.0				
				有功者表彰表彰式開催件数	1.0	実施主体・委託化	A		
				大阪府知事表彰表彰式開催件数	1.0	他の事務事業との関連	A		
				叙勲・叙位 発令回数	1.0				
				成果指標	H30実績	透明性	C		
				善行者表彰被表彰者数	6.0				
				有功者表彰被表彰者数	3.0	財政健全化計画	該当なし		
				大阪府知事表彰受賞者数	3.0				
				叙勲・叙位 受章者数	1.0	財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的	地域や市政の進展に功績のあった者や、篤行が特に優れ、市民の模範になる個人や団体を表彰することによりその功労に報い、ひいては市政、地域の発展に寄与するものとなることを目的とする。			被表彰者一人当たりの経費 147,064.4					
				被表彰者一人当たりの経費 294,128.8					
				受賞者一人当たりの経費 382,367.4					
				受章者一人当たりの経費 1,411,818.2					